

キャベツ



キャベツは本来冬が旬の野菜ですが、現在ではさまざまな品種改良がなされ食感や外見、旬の違う品種がそれぞれあるので、上手に使い分けておいしいキャベツを食べましょう。

作型

あまり早まきすると、とう立ちして、大きな玉にならない。
暑さと乾燥に弱いため、灌水を忘れずに行う。秋まきが作りやすい。

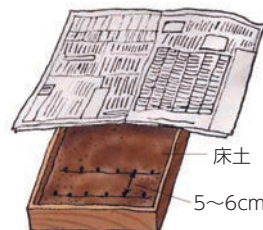
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋どり							○	△	—	■	■	■	おきな・湖月
年内どり								○	△	—	■	■	YR泰山・彩風
冬どり	■	■	■	■				○	△	—			あやひかり

○：種まき △：植え付け ■：収穫

育苗

- トロ箱などに条間5~6cmで、すじ状にまく。
- うすく覆土(5mm)し、鎮圧する。発芽まで新聞紙をかける。
- 発芽したら2cmに間引き、本葉2枚頃、ポットに移植する。(9cmポット)
- 種まき後35~45日位、本葉5~6枚の苗を定植する。
灌水：午前~日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布。
床土の作成：1㎡当たり完熟堆肥2kg、BMようりん50g、セルカ150g、
野菜専用肥料100g

新聞紙は発芽後すぐにとり除く。



畑の準備・定植

土づくり a当たり

堆肥 400kg
セルカ(有機石灰) 15kg

元肥 a当たり

醗酵鶏糞 30kg

- 2条千鳥植え：畝幅120cm
- 株間30~40cm
(条間40~45cm)



本葉5~6枚の頃、
丁寧に植える。
植える前に灌水をして
鉢の乾きを防ぐ。

追肥・土寄せ

- 定植後30日頃：追肥後、軽く土寄せを行う。
- 結球開始時期：追肥する
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a
(冬どりは7kg/a))



外葉が大きくなると
大きな玉にならない。

土寄せをしないと
株が転んでしまう。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
アオムシ ヨトウムシ	幼虫を捕殺 防虫網を張る 早期に発見し捕殺する	トレボン乳剤(1,000~2,000倍) 3日前まで 3回以内

収穫

- 手で押さえてみて、固くなっているものから収穫する。
- 長い間畑に放置すると、裂球やとう立ちする。
- 先がとがってきたら、とう立ちする株である。

ブロッコリー

ブロッコリーはケールが祖先にあたるアブラナ科アブラナ属の植物で、アクがほとんどなく、ほのかな甘みがあります。また、形がよく似ているカリフラワーより栄養価が高いのが特徴です。



作型 つぼみを食べる野菜の代表格で、花が咲かないうちに収穫する。追肥と灌水をこまめに行い、側枝も収穫すると良い。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
夏まき	■	■	■	■				○	△		■	■	グリエール・ハイツ・緑嶺・グリーンランド

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	30kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
野菜専用肥料	5kg
醗酵鶏糞	40kg
畝立時施用	

- 1条植え：畝幅70～80cm
株間：30～40cm
- 土寄せしやすいように低く植える。
- 植え穴に灌水してから植え付ける。(乾燥しやすい場合)

支柱立て

- 草丈が高くなるので、30cm位伸びたら支柱を立てる。

追肥・土寄せ

- 定植後15～20日：追肥し、土寄せを行う。
- 花蕾が見え始めた頃：追肥し、土寄せを行う。
- わき花蕾を収穫する場合は頂花蕾収穫後：追肥し、土寄せを行う。
(追肥の量：畝肩にそれぞれ野菜専用肥料7kg/a)

防除

病害虫名	耕種的防除	薬剤防除
アブラムシ類	光反射テープ 光反射マルチを用いる	スタークル顆粒水溶剤 2,000～3,000倍 3日前まで2回以内
アオムシ コナガ	幼虫を捕殺する 育苗期に寒冷紗またはパスライト等で覆う	アフーム乳剤 1,000～2,000倍 3日前まで3回以内

収穫

- 蕾が米粒大になった頃(直径15cm位)
- 花が咲かないうちに収穫する。
- 側枝が伸びて先端に蕾をつけるので、これも収穫できる。



■苗の準備

- ト口箱などに条間5～6cmで、すじ状にまく。
- うすく覆土(5mm)し、鎮圧する。
発芽まで新聞紙をかける。
(新聞紙は発芽後すぐに取り除く)
- 発芽したら2cmに間引き、本葉2枚頃、ポットに移植する。(9cmポット)
- 種まき後35～45日位、本葉5～6枚の苗を定植する。
灌水：午前～日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布。
床土の作成：1㎡当たり完熟堆肥2kg、BMようりん50g、セルカ150g、野菜専用肥料100g

